



県では、人口減少下においても、将来に渡って住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、「宮崎ひなた生活圏づくり」の取組として、地域運営組織の形成等を支援しています。この通信では、地域で暮らす人々が中心となって地域課題の解決に取り組んでいる事例など、これからの地域活動のヒントとなるようなものを発信していきます。

有償助け合い活動による生活支援

～やっみろ会(小林市野尻町)～

地域名：小林市野尻町
活動地域：小林市野尻4区
団体名：やっみろ会
メンバー数10人(令和3年4月現在)
地域概況：人口7,205人、世帯数3,618世帯
高齢化率40.9%
(令和3年4月1日現在)
問い合わせ先：
のじり地域包括支援センター 0984-44-2271



【取組の経緯等】

- のじり地域包括支援センターが中心となって、高齢者等の生活支援を行う男性ボランティアの会を立ち上げることとなり、参加を呼びかけたところ、フラワーショップの店主や行政書士、民生委員、定年退職された方など、10名以上が集まった。
- 参加者は、事前に地域包括支援センターが開催する2日間のボランティア養成講座を受講。ボランティアの心得や、役割等を学んだ。また、移送支援も見据え、車の乗り降りの際の介助や、安全運転講習も実施した。
- 令和2年7月から活動を開始。ボランティアとして参加した男性の一人は、「人生の中で最後くらいは人の役に立ちたい、という思いから活動している」と話す。
- 令和2年度はメンバー1人あたり5～7件ほどの活動を行った。メンバーそれぞれが可能な範囲で活動を実施している。

【活動の概要】

- これまで、草刈り、生け垣の剪定、重量物の移動、庭の片付け、電球の交換などの支援を実施。
- 利用料は、30分程度の軽作業の場合は200円、動力を使用する草刈りは1時間以内で600円とし、全額がボランティア会員へ支払われている。
- 受付を行う事務局は設けておらず、利用希望者はチラシに掲載している会員の電話番号へ直接電話し、支援内容と日程の調整を行っている。

【工夫点や特徴】

- 「やっみろ会」の立ち上げ時に、メンバーで話し合い、あえて事務局や規約は設けずに、気さくに参加できる『集まり』の雰囲気を作った。
- 定例の会議などのルールが多いと、参加をためらう人もいると考え、会議も必要に応じて開催することにするなど、メンバーの話し合いにより、参加のハードルを下げる工夫をしている。
- 依頼があった場合は、あらかじめ自宅を訪問し、支援内容を具体的に打合わせるなどして、利用者との信頼関係を築くよう心がけている。

【今後の展望・課題】

- 令和3年度からは、野尻地区全域に活動を広げていきたいと考えている。
- 「男性ボランティアの会」から活動を開始したが、今後は女性の会員や若い会員も増やしていきたい。

【小林市全体の状況】

- 小林市では、令和3年5月末までに、「やっみろ会」を含めて、同様のボランティアグループが8団体発足している。
- グループによっては、事務局を置き、受付を一元化するなど、それぞれの地域の状況に合わせて活動を行っている。



今後も、不定期に県内の活動事例を紹介していきます。地域で暮らす人々が中心となった取組について情報がありましたら、ぜひお寄せください。

宮崎県総合政策部中山間・地域政策課
中山間・特定地域振興担当
電話:0985-26-7036
メール:chusankan-chiiki@pref.miyazaki.lg.jp